

## 川重冷熱工業株式会社

Q:今回は外装のデザインだけなのか？スイッチパネルの設置位置や機械の部品などのデザインは行わないのか？

A:本体の外装のデザインのみ。機能などの専門的なことは考えなくても良い。スイッチパネルは外観に含まれるので、デザインの対象。

Q:ボイラーの突起物の箇所は決まっている？その突起物を何かで覆うことは可能？

A:突起物位置と寸法は決まっている。見えないように覆うことは可能。

Q:時計のようなものが付けられているが、それは何で、又必要か？

A:圧力計で、必ず必要。「見えること」と、「円の形であるということ」が法律で決められている。

Q:最低、必要なものは何か？

A:前ケーシングにスイッチパネルと圧力計。後方のケーシングは不要。

Q:開閉するものは必要？

A:メンテナンス、点検に対して、必要に応じて開閉部がある。

Q:会社のロゴデザインは付けたほうがいいのか？

A:なくて良い。

Q:ボイラーのサイズは？

A:現在のKF ボイラーと同じサイズ(幅 1150 奥行き 2180 高さ 2100)/mm

Q:現在のボイラーの外装は何でできているのか？またカラーリングは自由か？

A:外装は鉄板で、カラーリングは自由。

Q:ボイラーの部品はリサイクルできるのか？ごみとして出るものはないのか？

A:ほぼリサイクル。KF ボイラーのリサイクル率は重量比95%。主要リサイクル素材は鉄、ステンレス、銅、ガラス、プラスチック。

Q:ボイラーの設置場所は？

A:標準的には屋内設置。ユーザではほぼ100%屋内設置。防水加工により屋外でも設置可能。ただし、現状の設置場所は、屋外屋内問わず、地下や目に付かない日陰に置かれていることが非常に多い。

Q:ボイラーは密着させて設置しなければならないのか？

A:密着設置しても、離して設置しても自由。ユーザの設置スペースに応じて自由設置。現状は密着設置が大多数。

Q:見える場所にボイラーを置いて欲しいという理由は何？

A:各ユーザの見える場所に設置することにより、その工場が環境に優しく、親しみやすく、安全で安心できるということが実際に目に見えてわかるようにするため。

Q:メンテナンスする部位はどこか。又点検回数はどれぐらいか。

A:主に後面です。前面部にもあり、扉化して、メンテナンスができるようにしている。後面は1日1回程度。正面(前面)の、右側スイッチ部はONOFF時のみ。正面左側は1日1回。

Q:正面(前面)の左右の扉の意図は。

A:特に無いが、右は電源部、基板等を、左は配管、弁を集合させている。用途が異なるので、左右に集合させて分けた

Q:正面扉の開閉頻度は。

A:右は開けることはほとんど無い。左は1日1回程度開閉。

Q:後ろにあるハシゴは何に使うのか？

A:ボイラーの上部で年2回程度、メンテナンスするときに必要。

Q:ボイラー室が工場見学コースというユーザはあるのか。

A:ボイラー室をガラス張りにして見学コースにしている例がある。現状では、ほとんどのユーザでは見学コースにしていない。危険物取扱所という区域に該当しているため。

Q:インフ리트ビート(製品の名前)のデザインを取り入れる必要があるか。

A:必要無い。全く自由な発想でお願いしたい。

Q:インフ리트ビートの曲線はどのような意味があるのか。

A:人と緩急に対する「やさしさ」を表している。人に対して、環境に対して。ボイラーが扱いにくい産業機械であることを否定したい意味もあり、扱いやすさもアピールしている。

Q:ケーシングは四角であるべきか。

A:四角い方が設置しやすく、ボイラー室での収まりが良いが、四角い中に曲面、曲線、コーナR等は自由。

Q:複数台を設置する場合、密着させて設置することが一般的か。

A:一般的で、密着した場合、一番右と左のボイラー以外は、横のケーシングは無い。

Q:横ケーシングが2分割している理由は。

A:ケーシングを取付ける時に1枚のケーシング重量を軽くするため。